

法学部 A方式 外国語（英語）

【問題構成】

- I 発音
- II 語彙
- III 語句選択
- IV 並べ替え
- V 長文速読
- VI 長文読解

【出題意図】

大学における英語学習は、「英語を」学ぶという段階を終え、「英語で」何かを学ぶことによって、あるいは実際に英語を運用することによって、自然に英語力も磨かれるという段階に入ります。そのために必要な基礎力を身につけているかどうかを確認するのが成蹊大学法学部の英語入試問題の目的です。

I～IVは文法問題、VとVIは長文読解問題となっています。文法問題は詳細な知識を問うものではなく、英語がどのような言語であるかを認識し、英文の意味を正しく理解するために必要な文法知識をきちんと身につけているかどうかを問う基礎的なものです。長文読解問題は、物語のような読みやすい長文を、十分なスピードで楽しみながら読んで全体の話の流れを把握できるかどうかを問うものと、それよりは短い論説文のような内容の濃い文章を、論理の展開をきちんと追いながら理解できるかどうかを問うものからなります。総合すると、英語にどれだけ馴染んでいるかが問われます。